

事業所名		サポートキッズいりばる				支援プログラム		作成日	令和 7 年	2 月	1 日
法人（事業所）理念		一人の”ひと”として幸せな人生を送るために									
支援方針		・個性を理解し、夢や目標を尊重し、その可能性を引き出せるよう支援します。 ・常に寄り添うことで、児童に「今」必要なものは何か？と考えながら支援します。 ・チームワークを大切に、最高の環境でサービスを提供できるように支援します。 ・ご家庭の児童に対する思いを汲み取り、一人の”ひと”として大切に支援します。									
営業時間			8 時	30 分	から	18 時	30 分	まで	送迎実施の有無	<div>あり</div>	なし
		支 援 内 容									
本人支援	健康・生活	・毎日の健康管理と必要な対応を行います。小さなサインから心身の異変に気づけるよう、観察を行います。 ・衣類・靴の着脱や整理整頓の支援。自分の持ち物を意識管理出来るための支援をします。 ・睡眠、食事、排泄等の基本的な生活のリズムを身に付けられるよう決まった時間での誘導と支援をします。 ・1日の流れや、イベントの説明などは視覚支援を用いるなど、分かりやすい方法で伝え、不安なく過ごすことが出来るよう支援します。									
	運動・感覚	・集団活動や製作活動にて、視覚、聴覚、触覚等の感覚を十分に活用できるよう、様々な体験を提供し支援します。 ・日常生活に必要な動作の基本となる姿勢保持や、運動機能の観察を行い、必要に応じて支援を行います。 ・集団活動にて、運動等の体を使う活動を提供し、身体機能の維持・向上を図ります。 ・集団活動や製作活動にて、各感覚を刺激し興味の幅を広げることが出来るように支援します。									
	認知・行動	・手伝いや活動を通じて、人の役に立つ喜びを感じ集団の中での自分の役割を意識する支援をします。 ・ルール理解も含めタイムタイマーを取り入れて支援します。 ・環境設定や提案を工夫することで、結果的に興味関心の幅が広がり見通しを緩やかにしたりイレギュラー時の対処法を身に付けられるようにしていく。 ・試行錯誤する過程を十分経験できるよう配慮し、自分で気づき自主的に取り組むことができる能動性を育てていく。									
	言語 コミュニケーション	・絵カードやジェスチャー等を用いて、言葉以外でのコミュニケーション手段の獲得を支援します。 ・不適切な行動を見極め、適切な表現でやり取りできるよう支援します。 ・相手の意図を理解したり、自分の考えを伝えたりする能力を支援します。 ・集団活動を通して、他者とのやり取りの場を提供し、職員が間に入り援助、支援します。									
	人間関係 社会性	・思いに寄り添った言葉がけに努め、職員と児童の良好な関係形成を図ります。 ・職員がモデルケースとなり、他者交流の経験を積むことが出来るように支援します。 ・集団活動を通して、ルールや順番を守ることや、協調した関わりを持てるように支援します。 ・他者との適正な距離感を把握が出来るように、適宜声掛けを行い、他者との良好な関係形成を支援します。									
家族支援		・家庭での困りごと、相談等を聞き取り助言する。 ・速やかに家族との連携が取れるようにLINEを用いて連携体制を築きます。 ・家族が仕事や私用の際に安心して預ける事の出来る場所の提供。 ・仕事等で送迎が難しい際には保護者に代わり送り迎えをします。					移行支援		・具体的な移行を想定した専門職による評価。 ・具体的な移行先との調整。・家族への情報提供や移行先での環境調整。 ・移行先との支援方針や支援内容等の共有、支援方法の伝達。 ・サービス担当者会議の実施		
地域支援・地域連携		・関係する放課後等デイサービス、相談支援事業所に様子を報告するなど情報共有し、密な連携を図ります。 ・地域イベントへの参加や、地域との交流の機会を提供し支援します。					職員の質の向上		・新人研修・法人内で研修を定期的に行っている。(事故防止・虐待防止) ・内部研修や外部研修などを通じ、職員の関わる力(行動力)考える力(想像力)作る力(創造力)を培っていく。 ・専門的職員による施設内研修		
主な行事等		・同法人の他事業所との交流(デイサービス含む) ・土曜日、長期休暇中の所外活動やクッキング ・誕生日会、ハロウィンやクリスマスなど、季節ごとのイベント									